

高2英語 Aクラス 担当 原田 勝

期間 7/21~29 (7/25 休)
時間 16:00~17:20



◎ 講義内容・カリキュラム

文法は関係詞、比較、仮定法に関する入試基本レベルの問題が理解できるように。少ない単元をみっちり。
解釈は中堅大学の入試レベルの長文読解を扱います。一学期の精読の成果を生かしましょう。

◎ 授業の特徴

できるだけ皆さんの疑問を解消するようなやりとりを授業中にしたい。小さな疑問をしまいこまずに、どんどんぶつけてください。
単語テストやります！

◎ 一言

質問するためには、そう、予習が不可欠。講習期間を有効に使いましょう。質問事項をリストアップすることを目的に予習してみてください！

高2数学 Aクラス 担当 松山 秀行

期間 7/21~29 (7/25 休)
時間 17:40~19:00



◎ 講義内容・カリキュラム

1. 微分法の計算
2. 微分法の応用
3. 積分法の計算
4. 積分法の応用

◎ 授業の特徴

高2数学のヤマである微積分法を学習します。予習は一切必要ありませんが、復習はかなりの時間が必要です。体調を万全にして、講習を1日たりとも休まないように。

◎ 一言

高2の夏期講習から受験のスタートと考えてほしいものです。また、前期で学習した分野も講習での試験範囲としますから、その分の復習も忘れずに。

高2国語クラス 担当 三輪 裕治

期間 7/21~29 (7/25 休)
時間 13:00~14:20



◎ 講義内容・カリキュラム

- ①読解力を伸ばす
現代文は論説文、小説を重点的に
古文・漢文は入試によく出る有名作品を用いて実践的な読解練習を
- ②知識を確認する
古文 助動詞・助詞 漢文 疑問・反語

◎ 授業の特徴

現代文の読解 予習用紙を用意して、一人一人の答案に目を通します
古文・漢文の知識 要点説明プリントと豊富な練習プリントのセットで100%習得!

◎ 一言

一生懸命な勉強は楽しく、夏休みもいっそう充実するはず。12日間、みなさんの心に残る講義と演習を提供することで、国語の本質を伝えたい。

高2数学 数Ⅲ-Sクラス 担当 松山 秀行

期間 7/31~8/8 (8/4 休)
時間 10:50~12:10



◎ 講義内容・カリキュラム

1. 複素数平面

◎ 授業の特徴

高3数学Ⅲの新課程である複素数平面をいち早く学習してしまいましょう。ポイントは回転移動にあります。コツがわかれば楽しく回れます。

◎ 一言

9月から数Ⅲに入りますが、継続して学習するには高校か塾で8月中に数ⅡBの微積分・三角関数の学習が終了していることが必要です。



高2英語 Bクラス 担当 ^{まびす}胡子 俊英

期間 7/21~29 (7/25 休)
時間 16:00~17:20

◎ 講義内容・カリキュラム

- I、関係代名詞・関係副詞、複合関係詞
- II、原級・比較級・最上級各用法
- III、仮定法過去・仮定法過去完了
仮定法を含む慣用表現

◎ 授業の特徴

各回の基本例文の暗唱で、文法事項を確実に頭に入れていきます。聞き取りテストの他、単語テスト・整序問題テストを毎日行い、受験学力の基盤を養成します。

◎ 一言

何とかして英語を伸ばしたいと思っている人は、毎日テスト漬けというこの講習を体験してみてください。必ず大きな進歩が実感できるはずですよ。



高2数学 Bクラス 担当 熊倉 幹男

期間 7/21~29 (7/25 休)
時間 17:40~19:00

◎ 講義内容・カリキュラム

指数・対数関数

◎ 授業の特徴

各範囲とも、基本事項の確認から進めていきます。標準的な応用問題に進む際、常に基本が理解出来ていれば解けることを確認していきます。授業で扱う問題数は少ないですが、演習用の問題はたくさん用意しています。

◎ 一言

いつまでも引きずってしまいうのが、この2つの関数です。センターの1番でつまずいたり、数Ⅲの学習に支障をきたす原因にもなるものです。講習で徹底的に演習して、完璧に理解しましょう。

■ 大学合格者の声 (2016 年度)

東京大学 文科Ⅱ類

萩原 紀彦 君 (海城高)

館山塾では質問が気軽にできること、過去問の記述部分の採点など、個別に勉強を見てくれることが大変助かりました。数学では、欲しい分野を言えばすぐに練習問題を出してくれるなど、きめ細かな対応をしてくれました。トイレにウォシュレットさえあれば、あとは言うことはありません。

信州大学 医学部

下野谷 聡 君 (海城高)

面倒見がよく、自分のできないところをしっかりと、授業以外でも、わかるまで質問に答えていただきました。少人数のおかげで、授業の方向性や難易度も、一人ひとりの都合が反映されやすくなっていました。数学の解説も不要な箇所は飛ばせるので、必然的に演習量も多くなり、学力向上に繋がりました。

東京大学 理科Ⅱ類

中村 研登 君 (海城高)

先生との距離が近く、アットホームな雰囲気が自分の性格上、合っていました。自分のレベルに合った授業で、確実に学力が向上していく手応えがありました。サボりぐせのある僕に、最後まで忠告を続けてくれて何とか勉強を続けられました。他だったら、どこまでもサボってどこまでも落ちていったと思います。

東京海洋大学 海洋工学部

木谷 駿介 君 (都立戸山高)

基本的に質問がすぐにできるという環境は、この塾ならではのだと思います。先生が授業中で質問できない場合でも、自習室が同じフロアにあるので、待っている間も自習していられ、時間を無駄にすることがありません。大手の塾にないような「小回りが利く」感じが館山塾の長所だと思います。

日本史 A・Bクラス 担当 佐治 恵

期間 8/16～8/24 (8/20 休) 7/21～29 (7/25 休)
時間 A…14:30～15:50 B…13:00～14:20



◎ 講義内容・カリキュラム

Aクラスは古代～近世史、Bクラスは近世～現代史を学ぶクラスです。いずれも私立・国公立を問わず必要不可欠な事項を、きっちり整理して講義します。

A：鎌倉～室町時代

B：明治時代後期～大正時代

◎ 授業の特徴

A・B両クラスとも、重要語句を網羅した特製のプリントが効果を発揮します。2つのクラスを並行して受講すればいっそう効果的。連日、前の日に学んだ範囲を復習テストで確認しますから、知識のチェックも十分です。

◎ 一言

授業の中でふと感じた疑問は、遠慮せず講師にぶつけてみて下さい。“愚問”などは存在しません。その問いをうまく育てる手伝いをしましょう。

世界史 A・Bクラス 担当 佐治 恵

期間 7/31～8/8 (8/4 休) 7/21～7/29 (7/25 休)
時間 A…16:00～17:20 B…16:00～17:20



◎ 講義内容・カリキュラム

Aクラスは古代～近代前期(18世紀まで)、Bクラスは近代後期(19世紀以降)～現代史を扱います。私立・国公立を問わず、不可欠な事項をきっちり整理して提供しましょう。

A：内陸アジア史～イスラム世界

B：帝国主義の時代

◎ 授業の特徴

両クラスとも特製のプリントが効果を発揮、さらに連日の復習テスト(さらにある程度まとまったところで「まとめテスト」という二段構え)、さらに入試問題の演習・添削と備えは万全。

◎ 一言

何でも疑問をもってしまおう人、好奇心旺盛な人、大歓迎。そんなひっかけりのところから生きた知識は育っていくのだから。

高2理系物理 クラス 担当 松山 秀行

期間 7/21～7/29 (7/25 休)
時間 14:30～15:50



◎ 講義内容・カリキュラム

物理の「波動」分野の学習を行い、9月以降は入試演習を行います。

1日目 波動(1)

2日目 波動(2)

3日目 波動(3)

4日目 波動(4)

5日目 波動(5)

6日目 波動(6)

7日目 波動(7)

8日目 波動(8)

◎ 授業の特徴

入試でもっとも差がつきやすい波動に関する学習を行います。波動の世界をなるべくヴィジュアル的に一つ一つ理解把握していきましょう。身の回りで起こる現象が科学的に説明できるのは楽しいですね。

◎ 一言

物理の学習で最も大切なのははじめての学習の際正確に理解すること。この講習で熱力学について正確に理解し、入試問題が解けるレベルに達します。